

令和7年度  
経営に関する課題抽出調査 結果  
(人手不足に関する現状・支援ニーズ調査)

河辺雄和商工会

## 調査概要

### 1 目的

経営発達支援計画に基づき、管内小規模事業者が抱える課題や支援ニーズ等について実態を把握するとともに、調査結果をデータベース化し、管内小規模事業者の経営の発達のために幅広く活用することを目的する。

### 2 期間

令和7年6月11日（水）から8月29日（金）まで

### 3 対象者

会員企業及び管内小規模事業者

### 4 事業者の分類

- ・業種

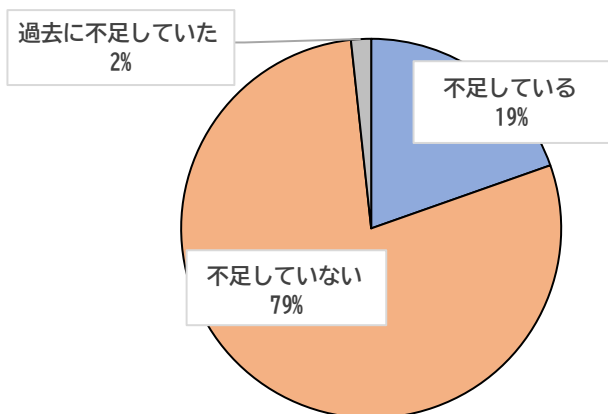
「卸小売業」「製造業」「建設業」「サービス業」「その他」の5つに分類

- ・雇用保険被保険者

「1人～5人」「6人～10人」「11人～20人」「21人以上」の4つに分類

## 設問 1-1 従業員は不足していますか（回答数＝352 社）

### 【全体】



### 【全体】

- ・回答数全体の 21%の事業者が、「不足している」または「不足していた」と回答。なお、全県の商工会での同調査における回答割合は 38.2%となっている。

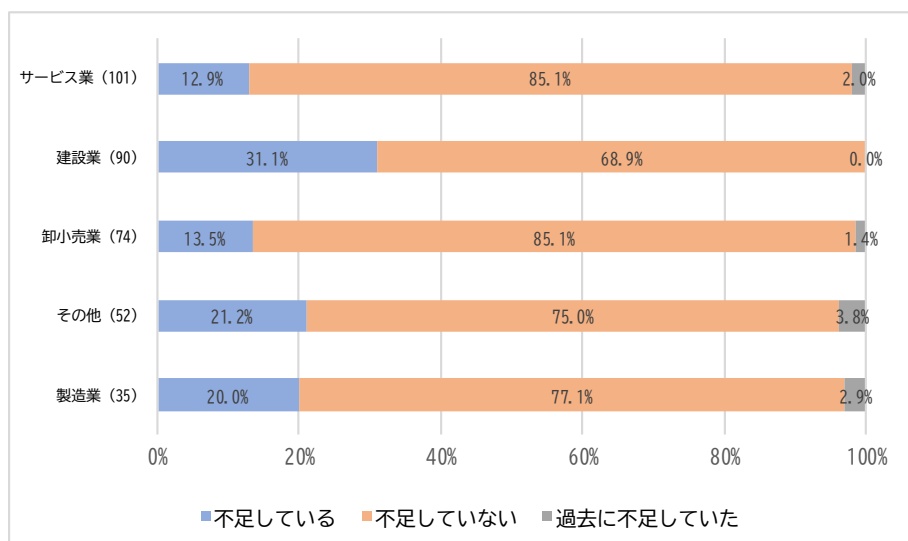
### 【業種別】

- ・建設業の割合が 31.1%と最も高く、次いでその他、製造業、卸小売業、サービス業の順に不足している。

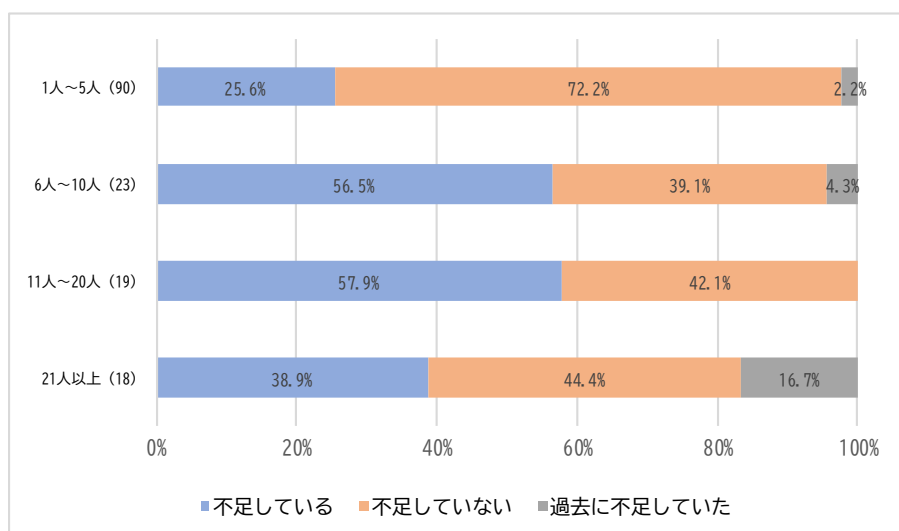
### 【雇用保険被保険者数別】

- ・従業員規模が大きい事業者ほど不足している。特に 6 人から 20 人規模の割合が高い。

### 【業種別】



### 【雇用保険被保険者数別】



設問 1-2 不足している場合は、何人ですか。(回答数=69 社)

- ・設問 1 で「不足している」と回答した 69 社で計 162 人が不足しており、1 社平均が 2.3 人となっている。
- ・業種別では、不足人数は建設業が最多で 64 人、1 社平均ではサービス業が 3.1 人となっている。

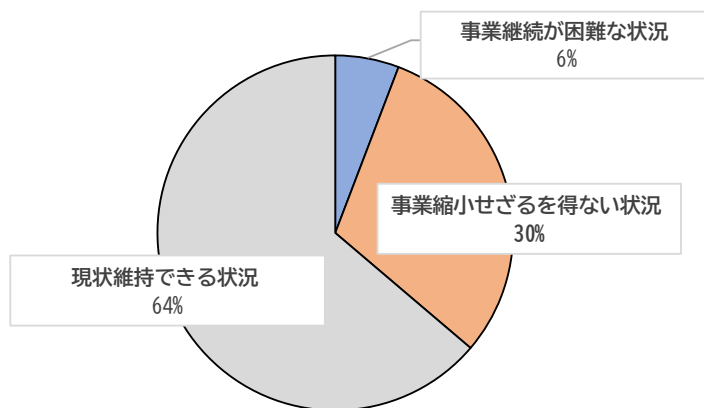
業 種	事業者数	不足人数	1社平均
建設業	28社	64人	2.3人
サービス業	13社	40人	3.1人
卸小売業	10社	23人	2.3人
その他	11社	25人	2.3人
製造業	7社	10人	1.4人
計	69社	162人	2.3人

設問 2 不足している従業員の職種は何ですか。(回答数=69 社) 複数回答

- ・最も不足している職種は、建設スタッフ 28.7%、次いで製造スタッフが 18.4%となっている。
- ・その他の中には 1 次品の生産に関する作業員が不足している等の季節性の高い従業員が不足しているとの回答も一定数みられた。

回答 順位	回答項目	事業者数	割合
1	建設スタッフ	25社	28.7%
2	製造スタッフ	16社	18.4%
3	その他	14社	16.1%
4	事務職	8社	9.2%
5	管理職	6社	6.9%
6	販売スタッフ	5社	5.7%
7	ドライバー	4社	4.6%
8	飲食店スタッフ	4社	4.6%
9	営業職	3社	3.4%
10	福祉介護スタッフ	2社	2.3%
	計	87社	100.0%

設問 3-1 人手不足は事業継続にとって、どの程度影響がありますか。(回答数=69 社)  
【全体】



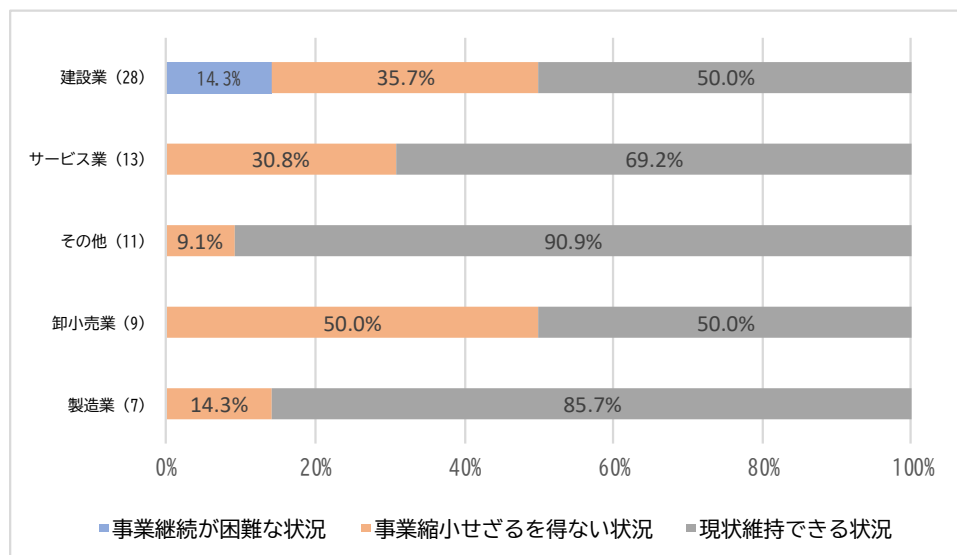
【全体】

・回答数全体の 36%の事業者が、「事業継続が困難な状況」または「事業縮小せざるを得ない状況」と回答。

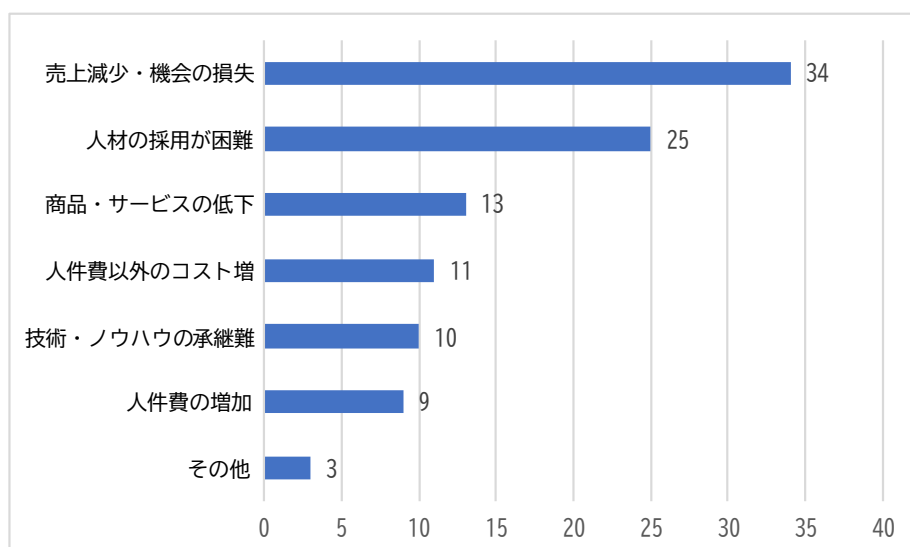
【業種別】

・特に建設業・卸小売業で影響度が高い傾向にある。

【業種別】



設問 3-2 その要因はどのようなことですか。(回答数=69 社) 複数回答



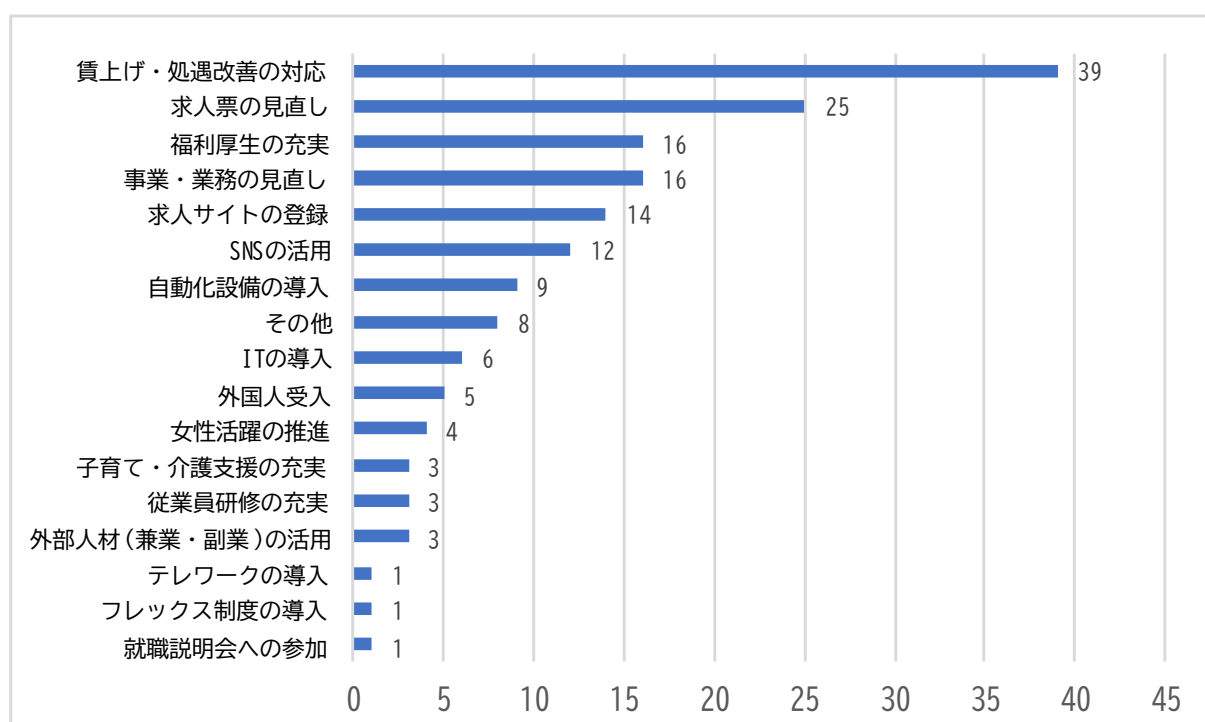
#### 設問 4 課題解決に向けて、取組みたい事(取り組んだ事)はありますか。

(回答数=69 社) 複数回答

(全体)

- ・複数の取組を検討している事業者が多く、複合的な取組が必要と考えている。(1社あたり平均2.4)
- ・上位3項目は、「賃上げ、処遇改善の対応」39社、「求人票の見直し」25社、「福利厚生の充実」「事業、業務の見直し」が同数の16社となっている。
- ・「求人サイトの登録」や「SNSの活用」等の若年者層向けへの取組が必要であるとの一定数のニーズがある。

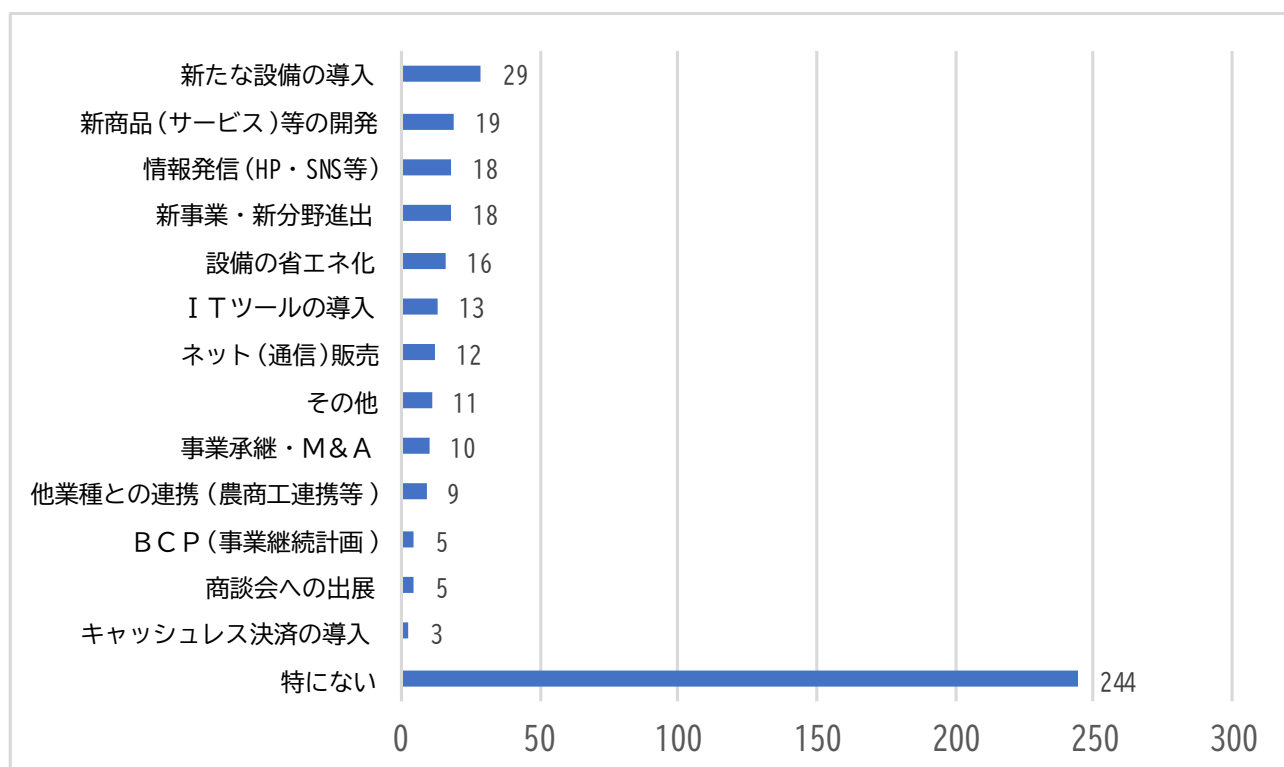
【全体】



設問 5 人材不足以外に販路開拓（売上向上、集客、ネット販売、キャッシュ等）や事業承継（M&A含む）、生産性向上に向けた支援及び補助金等の活用をご希望されることはありますか。

（回答数＝352 社） 複数回答可

- ・新たな販路を開拓するために「新たな設備の導入」「新商品（サービス）等の開発」「情報発信」「新事業・新分野進出」等の革新的な取組を希望する回答も一定数みられた。
- ・設備の省エネ化」「IT ツールの導入」等の物価高対策としての回答が多くみられた。





【参考】

令和7年度経営に関する課題抽出調査票 河辺雄和商工会

事業所名			回答者 役職・氏名	
従業員数	個人	・専従者_____名 ・雇用保険被保険者_____名 ・その他_____名		
	法人	・役員_____名 ・雇用保険被保険者_____名 ・その他_____名		

※回答は、調査票の番号に○印を付けてください。

【人手不足に関する現状・支援ニーズ調査】

設問1 従業員は不足していますか。不足している場合は、何人ですか。

- ① 不足している【\_\_\_\_\_名】 ② 不足していない【設問5へ】 ③ 過去に不足していた。【設問4へ】

設問2 不足している従業員の職種は何ですか。（複数回答可）

- ① 管理職 ② 事務職 ③ 営業職 ④ 販売スタッフ ⑤ 製造スタッフ ⑥ 建設スタッフ  
⑦ 飲食店スタッフ ⑧ ドライバー ⑨ 福祉介護スタッフ  
⑩ その他（\_\_\_\_\_）

設問3 人手不足は事業継続にとって、どの程度の影響がありますか。（1つ選択）

また、その要因はどのようなことですか。（3つまで選択可）

影 響	① 事業継続が困難な状況	② 事業縮小せざるを得ない状況	③ 現状維持できる状況
要 因	① 売上減少・機会の損失 ④ 人件費以外のコスト増 ⑦ その他（_____）	② 商品・サービスの低下 ⑤ 人材の採用が困難	③ 人件費の増加 ⑥ 技術・ノウハウの承継難

設問4 課題解決に向けて、取り組みたいこと（取り組んだ事）はありますか。（複数回答可）

- ① 事業・業務の見直し ② 自動化設備の導入 ③ ITの導入 ④ 求人票の見直し  
⑤ 求人サイトの登録 ⑥ SNSの活用 ⑦ 就職説明会への参加 ⑧ 福利厚生の実施  
⑨ 従業員研修の実施 ⑩ 賃上げ・処遇改善の対応 ⑪ 女性活躍の推進 ⑫ テレワークの導入  
⑬ フレックス制度の導入 ⑭ 子育て・介護支援の実施 ⑮ 外国人受入  
⑯ 外部人材（兼業・副業）の活用 ⑰ その他（\_\_\_\_\_）

【販路開拓、事業承継、生産性向上に関する調査】

設問5 人手不足以外に販路開拓（売上向上、集客、ネット販売、キャッシュレス等）や事業承継（M&A含む）、生産性向上に向けた支援及び補助金等の活用をご希望されることはありますか。（複数回答可）

- ① 新たな設備の導入 ② 新商品（サービス）等の開発 ③ 商談会への出展 ④ 設備の省エネ化  
⑤ ネット（通信）販売 ⑥ 事業承継・M&A ⑦ 新事業・新分野進出 ⑧ キャッシュレス決済の導入  
⑨ 情報発信（HP作成、SNS活用等） ⑩ ITツール（ソフトウェア）の導入 ⑪ BCP（事業継続計画）  
⑫ 他業種との連携（農工商連携等） ⑬ 特になし ⑭ その他（\_\_\_\_\_）

設問6 人手不足対策及びその他について商工会や県、市町村への要望事項はありますか。（自由回答）

【ご協力ありがとうございました】 >> FAX: 018-882-3774 Mail: kawabeyuwa@skr-akita.or.jp